

THE UKI NEWSLETTER

子どもたちの「未来」を変えるために 大人たちが「今」を変えていく

教育のまちを目指して

宇城市では子どもたちの未来のため「教育のまち」づくりを目指して、さまざまな事業を始めています。

子どもたちの未来を真剣に考える宇城市の教育について平岡和徳教育長に話を聞きました。

平岡教育総務課 ☎32-1907



平岡教育長プロフィール

- ・1965(昭和40)年生まれ
- ・宇城市松橋町出身
- ・松橋中一帝京高一筑波大
- ・高校時代にはサッカー一部主将として2度の全国制覇
- ・大津高校サッカー部を高校を代表する強豪に育てる。
- ・巻誠一郎さんなど50人近いJリーガーを輩出。
- ・2017年4月市教育長就任。

子どもが輝く宇城市に

宇城市は最近、教育に特に力を入れていますが、その狙いを教えてください。

平岡教育長(以下「平」) 子どもたちが日本一輝く宇城市にするという目標を掲げ、3年目を迎えました。子どもたちの笑顔は地域を変え、奇跡を起こす力を持つています。子どもたちが輝くことで、学校が輝き、地域が輝き、社会がどんどん活性化していく流れを作りたいと思っています。

今年、市長に「教育のまち」づくりを宣言していただきました。就任当初、教育費は市全体の予算の7〜8%でしたが今では14〜15%に増え、市長の思いがソフト・ハード両面の充実した環境整備に反映されていると思います。ス

学校の働き方改革

今年始まった教職員の働き方改革とはどのようなものでしょうか

平 宇城市では新年度から「働き方力エル改革」と題して、3つの力エルを準備しました。

意識を力エル、やり方を力エル、定時に力エル。やらされてやるからスタートし、自主的にやる、工夫する、最終的には夢中になってやるという段階があるとして、子どもたちにそれを要求するのであれば、先生方が日々の業務を効率よく時間内に収める努力をすることも重要です。業務を力エル、学校を力エル、そしてワークライフバランス、先生方の人生観まで変わっていかばいいなという思いを託しています。

ずっと教育現場で子どもたちに「24時間をデザインしなさい」と言っていますが、いよいよ我々教



職員、教育行政に関わる全ての人が勤務時間を含めた24時間をデザインする時代が来ています。3K(可視化・協働化・効率化)といったベースとなる取り組みを中心に、働き方改革を進めていきます。

子どもたちの未来のため

宇城市の教育について、どう感じていますか

平 子どもたちはもちろん先生方も非常に高い能力をお持ちだと思います。ただ、もともとと成果が上がる部分もあるんじゃないでしょうか。そこに教育行政の我がどいついたアプローチをしていくか。子どもたちの環境、先生方の環境、家庭環境、全て重要です。あの学校に行きたいという子どもたちがいて、あの学校に通わせたいという保護者がいて、その学校で働きたいという教職員がいる。そういう学校づくりを突き詰めていけば、地域の特色に応じた教育が家庭・学校・地域の三位一体の中でできていくと思っています。

「今まで通り」では後退になりません。勇み足になっても「前に進む」というエネルギーを持ち続けるこ

とが重要なことだと思います。

目標を定めてそこに向かっていく行動をしないと、何が正しくて何が違うのか分かりにくいです。宇城市の子どもたちをこう変えたいというビジョンづくりが教育長としての自分の仕事です。「私たち大人が今を変えなければ子どもたちの未来は変わりません」ということなんです。

諦めない才能を磨くこと

宇城市の子どもたちに、これは伝えておきたいということは

平 人生の中で一番大事な才能は、諦めないという才能だと思います。「もうだめだ、の先にあるすごい自分を意識して諦めない心の才能を磨いてください」。これが子どもたちに伝えたいことです。大体、みんな諦めるんですよ。諦めなければ本物になるのに。

大津高校には「できないはずがない」という言葉があります。なぜなら「できるまでやる」から。正しい努力を継続する中で「あの人に会えて良かった」「あそこに行つて良かった」「あの本に出会えた」とそういった一期一会が必ずあり

ピード感と機動力をもって教育の質を上げていくことを進めます。

流れを変える連携

先日、市と市教育委員会が(株)ベネッセと連携協定を締結しました。どのような内容でしょうか

平 ベネッセとの包括連携協定は、市にとって今後の教育の流れを変えるポイントになると思っています。新学習指導要領ではプログラミング教育などが新しく導入されます。先生方と共にスムーズな移行を目指していますが、そのためには中学生に一人一台のタブレットというハード面だけをそろえるのではなく、先生方を支える支援員の数をいかに充実させるかが重要です。先生方にも新しい取り組みや新学習指導要領に向けての不安があると思いますが、子どもの教育に重要なのは実は先生方を疲弊させないこと。「宇城市は教員の未来にも触れている」と思ってもらえる職場環境を作りたいと考え提議しました。これをきっかけに、先生方の働き方改革の流れにつなげていきたいと思っています。

ます。頑張っていれば応援者がどんどん出てくるんです。

だから宇城市も応援団の数を増やすため、教育行政に携わる一人一人が精一杯子どもたちの未来に向けて頑張っていきます。

僕らが諦めたら終わりなので、まずは我々から諦めない才能を磨いていかなきゃなりません(笑)。

著書紹介 ほんじてついで ・ 凡事徹底 ・ 年中夢求

平岡教育長の考えをまとめた2冊の本が発売中。市立図書館でも貸し出しています。

